

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事故(速報)発生状況】 (H24.7.31現在)

	7月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成24年度(今年度)	10件	21件	0人	8人
平成23年度(昨年度)	2件	74件	1人	19人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

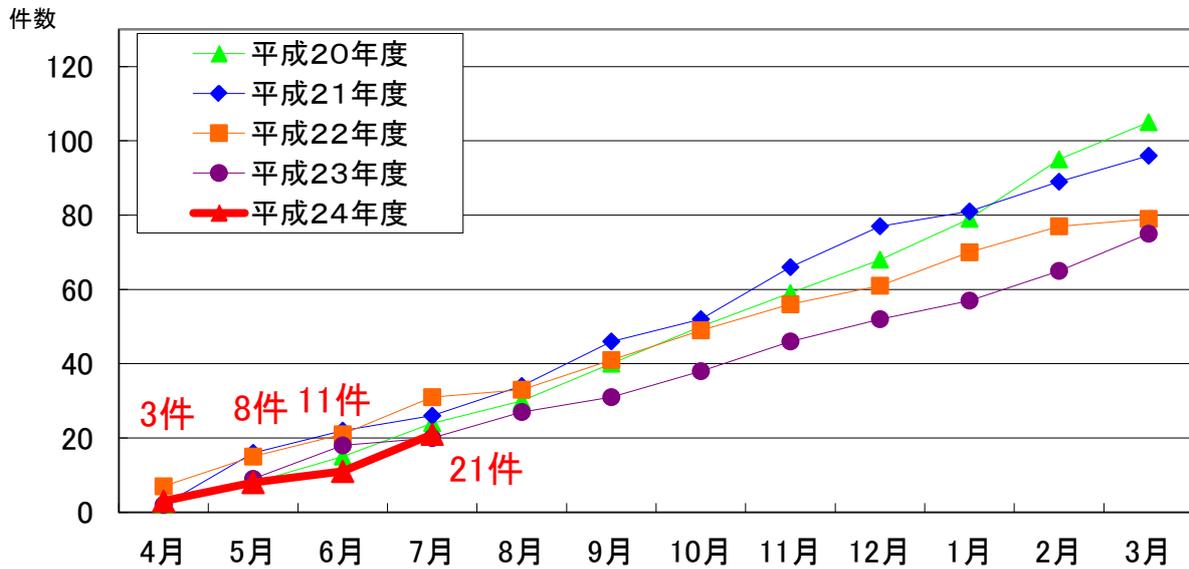
注2) 「7月発生件数」は、7/1～7/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成24年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

●工事事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成20年度 累計	2件	8件	15件	24件	30件	40件	50件	59件	68件	79件	95件	105件
(月毎)	(2件)	(6件)	(7件)	(9件)	(6件)	(10件)	(10件)	(9件)	(9件)	(11件)	(16件)	(10件)
平成21年度 累計	2件	16件	22件	26件	34件	46件	52件	66件	77件	81件	89件	96件
(月毎)	(2件)	(14件)	(6件)	(4件)	(8件)	(12件)	(6件)	(14件)	(11件)	(4件)	(8件)	(7件)
平成22年度 累計	7件	15件	21件	31件	33件	41件	49件	56件	61件	70件	77件	79件
(月毎)	(7件)	(8件)	(6件)	(10件)	(2件)	(8件)	(8件)	(7件)	(5件)	(9件)	(7件)	(2件)
平成23年度 累計	2件	9件	18件	20件	27件	31件	38件	46件	52件	57件	65件	74件
(月毎)	(2件)	(7件)	(9件)	(2件)	(7件)	(4件)	(7件)	(8件)	(6件)	(5件)	(8件)	(9件)
平成24年度 累計	2件	8件	11件	21件								
(月毎)	(2件)	(6件)	(3件)	(10件)								

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

発生日時	平成 24 年 7 月 5 日 (木) 14 時 30 分				天候	曇
工事情報	河川系事務所 役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	官用車後部バンパー損傷		
事故概要	方向転換の際に、林道山側のモルタル吹きつけに接触し、官用車後部バンパーを損傷させたもの。					
	公衆損害事故-その他公衆損害					

事故発生状況



※この写真は、事故を起こした車両ではありません



車両損傷状況

- ・職員の下車後、次の工程に備え、方向転換場所を探したところ、下車場所から100m先に少し広い場所があったため、そこまで移動し方向転換を行った。
- ・3回切り返したところ、バックしすぎて林道山側のモルタル吹きつけに接触したもの。

【事故発生原因】

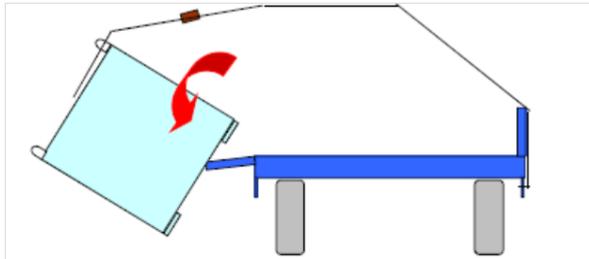
- ・運転手の後方確認不足によるもの。
など

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・周辺構造物への注意、確認を行う。
など

発生日時	平成 24 年 7 月 11 日 (水) 10 時 10 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	-	通行者	左腕上腕部打撲と創傷、国道(県管理)全面通行止め7時間以上)	
事故概要	薬液が入った容器を運搬中に落下させ、薬液が車道部に漏出し、路上で固化した薬液でバイクがスリップ、その運転者が転倒、負傷させたもの。 公衆損害事故-その他 公衆損害事故				

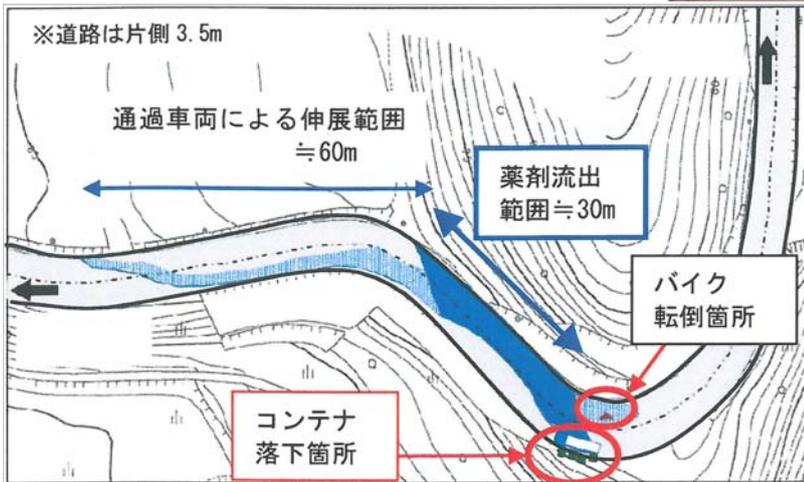
事故発生状況



コンテナ落下状況(推定)



薬液漏出状況



コンテナ損傷状況

- ・トンネル掘削の補助工法として使用する薬液注入材が入ったコンテナをユニック車で運搬。道路のカーブを曲がる際にコンテナが荷台から落下して、薬液が車道部に漏出。
- ・漏出した薬液が固化、走行してきたバイクがスリップして転倒、負傷させたもの。
- ・11時頃に全面通行止め、その後道路の清掃を実施。18時から全面通行止めを解除、片側交通でアスファルト切削工事を行い、23時45分には全面開放となった。(オーバーレイ工事は、後日実施)。

【事故発生原因】

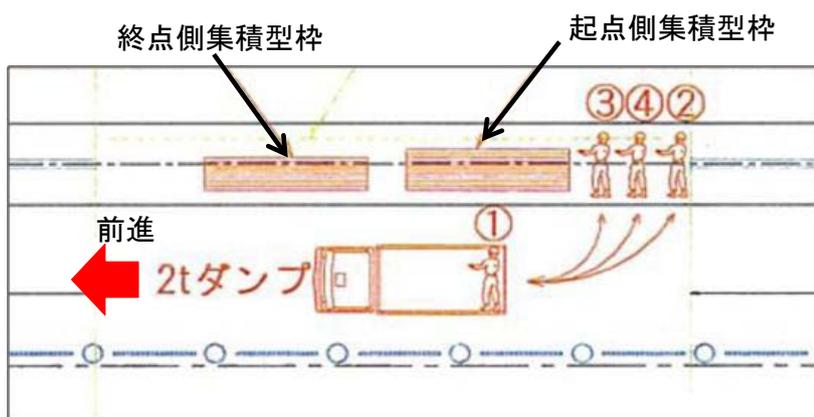
- ・積荷の固縛が不十分であったため。

【事故防止のポイント】

- ・積荷の構造、内容物の特性に応じて、確実な固縛を行うこと。
など

発生日時	平成 24 年 7 月 11 日 (水)			16 時 35 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	62	普通作業員	脳震盪、全身打撲		
事故概要	資材(型枠)積み込み中の作業員が、トラックの荷台から落下し、負傷したものと。					
工事関係者事故-その他 工事関係者事故						

事故発生状況



・中央分離帯側縁石の型枠解体作業において、解体した型枠を2カ所に集積。

・1カ所目(起点側)の積み込み終了後、次の集積箇所(終点側)に移動する際に、ダンプを前進させたところ、荷台上にいた作業員が路面上に転倒したものの。

・作業手順書(リスクアセスメントを含む)において、転落を予想し、荷台に人を乗車させたまま車両等を移動させないこととなっていたが、事故の際には、乗ったまま移動を行おうとしていた。

【事故発生原因】

・作業手順所で決められていた移動方法を守らず、荷台に人を乗車させたまま車両の移動をおこなったため。

【事故防止のポイント】

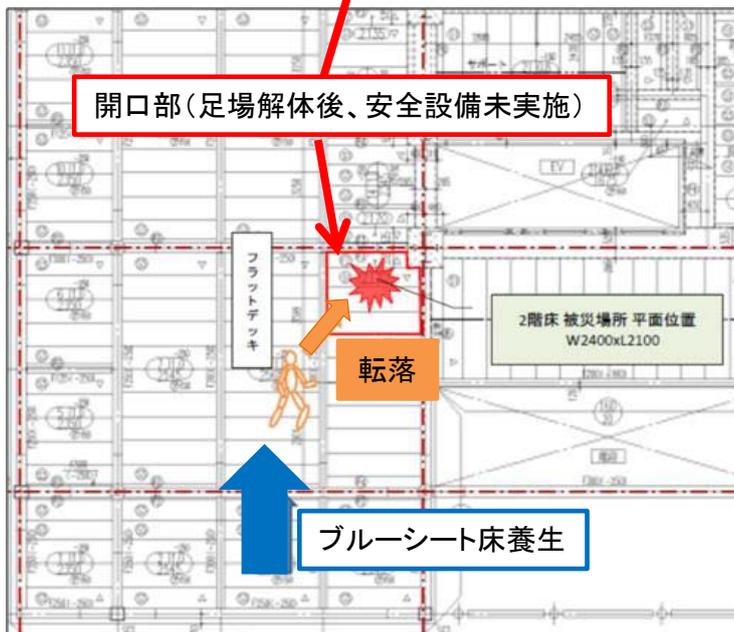
・安全上の注意及び指示事項について作業員に周知・徹底をおこなう。
など

発生日時	平成 24 年 7 月 12 日 (木)			13 時 50 分	天候	曇
工事情報	営繕系事務所 建築工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	31	とび工	鼻部切創、額切創		
事故概要	2階開口部付近でシート養生を取り付け中に、フラットデッキにつまづきバランスをくずし、1階床へ転落し、負傷したものの。					
	工事関係者事故-墜落					

事故発生状況



2階床開口部状況



2階平面状況

- ・ 2階において降雨対策等のためのブルーシート床養生を行っていた。

- ・ 足場解体直後で安全設備が設置されていない状態の開口部付近でつまづき、バランスをくずして1階床へ転落し負傷したものの。

- ・ 現場において作業手順を変更しており、開口部に先行設置を予定していた安全設備（ネット）が設置されていなかった。また、開口をフラットデッキにて塞いだ後にブルーシート床養生を行う予定が、塞がないままの作業となっていた。

- ・ 安全帯は使用していなかった。

【事故発生原因】

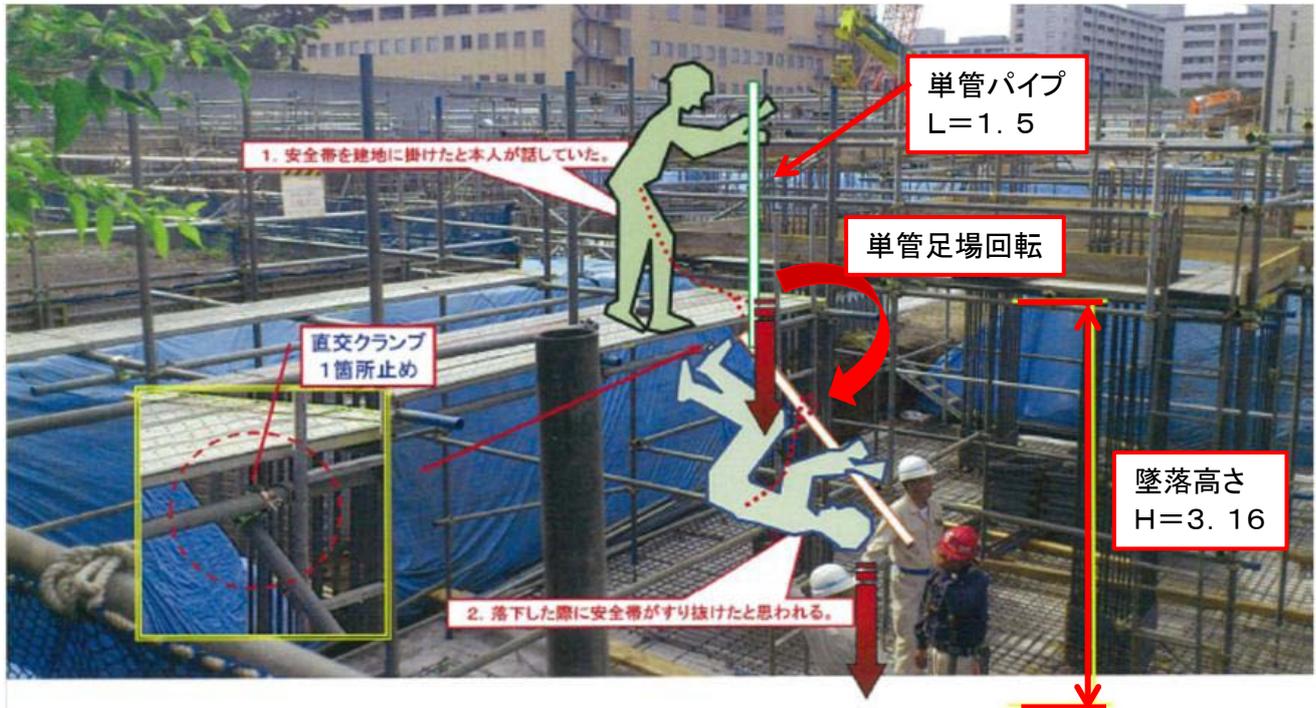
- ・現場において作業手順を変更し、転落防止措置が行われていなかったため。
など

【事故防止のポイント】

- ・決められた作業手順どおりに作業するよう作業員に周知・徹底する。
- ・転落防止の安全教育の徹底。
など

発生日時	平成 24 年 7 月 13 日 (金)			8 時 50 分	天候	晴
工事情報	営繕系事務所 建築工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	59	とび工	脳挫傷、肋骨骨折		
事故概要	鉄筋足場施工(足場盛り換え作業)中に、鉄筋足場から約3m程度落下し負傷したもの。					
	工事関係者事故-墜落					

事故発生状況



- ・当日に鉄筋工からの申し入れにより、予定外の鉄筋足場盛替鉄筋足場の盛り換え作業を実施。作業は口答による指示となっていた。(作業手順書未作成)
- ・事故発生時は、手すり及び幅木の解体を実施。安全帯を単管足場の縦地に掛けていたため、手すりを解体したことにより安全帯を掛けていた単管足場が回転する不安定な状態であった。
- ・何らかの原因で3.16m下に転落、安全帯を掛けていた単管足場が回転したため、安全帯が有効に機能しなかった。

【事故発生原因】

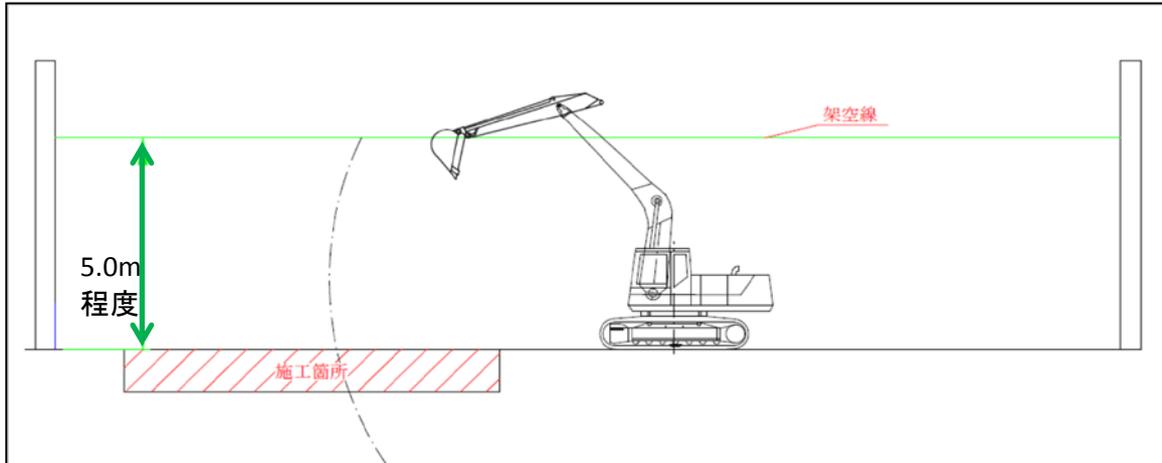
- ・安全帯が適切に使用されていなかったため。
- ・作業手順書が作成されておらず、墜落に対する注意喚起が不十分だった。

【事故防止のポイント】

- ・転落防止の安全教育の徹底。
 - ・墜落に対する注意喚起を含めた作業手順書を作成し、作業員に周知・徹底する。
- など

発生日時	平成 24 年 7 月 18 日 (水)			7 時 40 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	情報電光板架空線切断		
事故概要	コンクリート構造物撤去のため、バックホウを稼働しようとしてアームをあげた際、情報電光板の架空線と接触し、切断させたもの。					
	公衆損害事故-架空線・標識等の損傷					

事故発生状況



・ホテル跡地のコンクリート構造物撤去のため、バックホウを稼働しようとしてアームをあげた際、情報電光板の架空線と接触し、切断させたもの。

・架空線に対する防護カバー、看板等保安措置は未実施。

・工事着手前に現地確認を行った時 (H23.11月頃) から、架空線の位置が変わっていたが、気がつかなかった。(本工事で現地確認後、他の近接工事で支障となったため、架空線を移設していた。)

【事故発生原因】

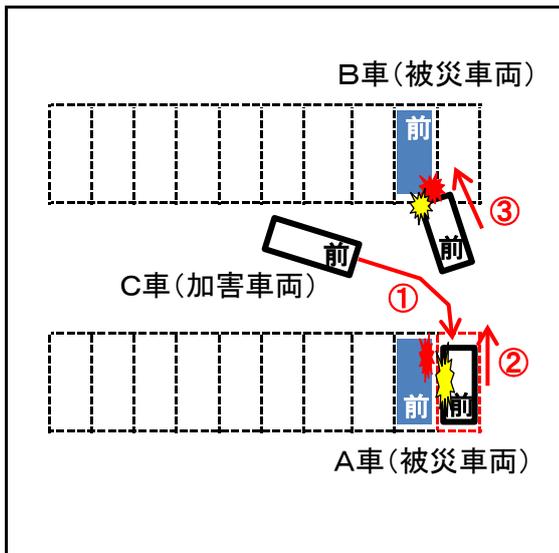
- ・架空線に対する注意喚起が不十分であった。
- ・作業前の確認が実施されていなかった。

【事故防止のポイント】

- ・架空線の近接箇所における作業前の確認、作業時の安全管理を周知・徹底する。
- など

発生日時	平成 24 年 7 月 22 日 (日) 19 時 30 分			天候	雨
工事情報	公園系事務所 業務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	車両3台 車体のへこみ、擦り傷	
事故概要	業務において園内作業員を送迎作業後、駐車場において駐車中、他業務委託の駐車車両2台にぶつかり、損傷させたもの。 公衆損害事故-第三者の負傷・第三者車両に対する損害				

事故発生状況



事故発生状況平面図

・園内作業員の送迎を終え、公園事務所駐車場に入り、作業員を下車させた後、車庫入れを実施

①右折して駐車しようとしたところ、Cの右サイド前方部とAの左サイド後部が接触

②Cを切り返し、真っ直ぐにして、後退したところ、Cの右サイド全体とAの左サイド後部を接触

③Cをさらに後退させたところ、Cの右後部角とBの左前部角を接触

・当日は雨のため視界が悪かった



C車 (加害車両) 損傷状況



B車 (被災車両) 損傷状況

【事故発生原因】

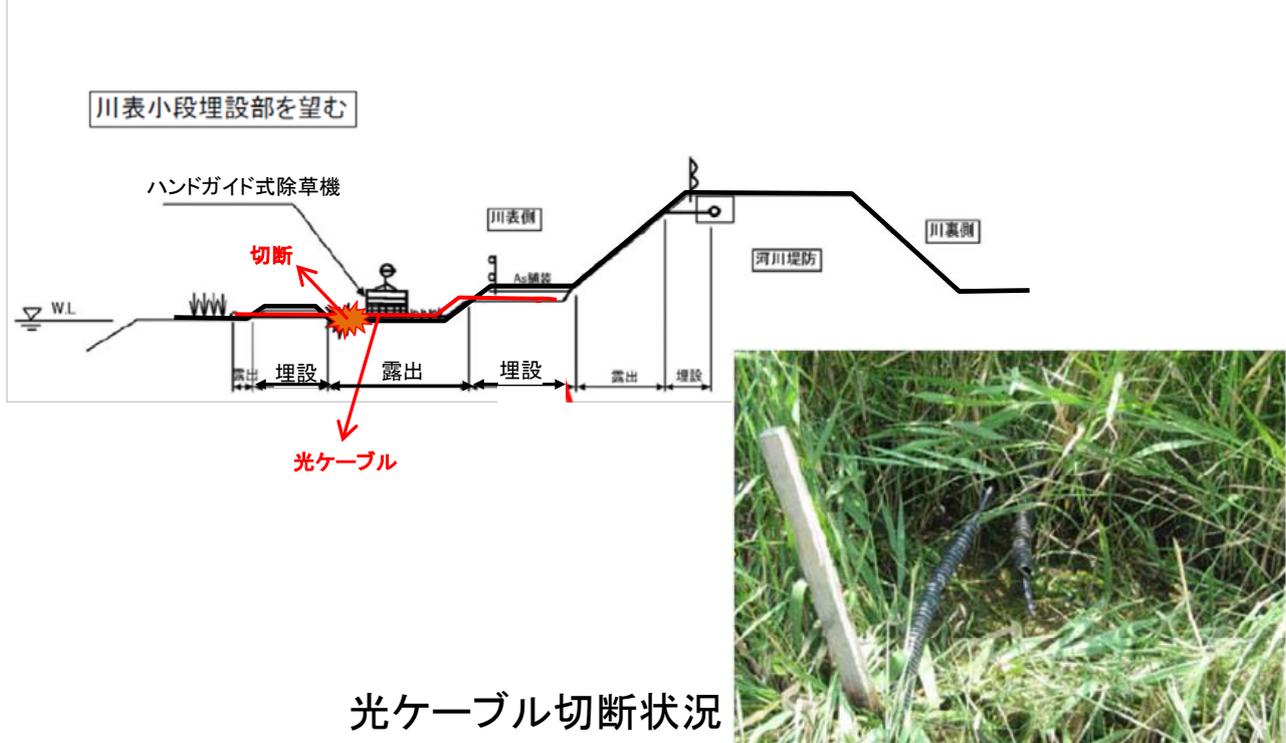
・運転手の前方、後方、側方確認不足によるもの。
など

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。
・周辺駐車車両への注意、確認を行う。
など

発生日時	平成 24 年 7 月 26 日 (木)			11 時 30 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	光ケーブル切断		
事故概要	除草作業中に光ケーブルをハンドガイド式草刈り機にて切断した。光ケーブルは災害復旧工事により切りまわし露出していたもの。					
	公衆損害事故-その他 公衆損害事故					

事故発生状況



- ・ハンドガイド式を使用し除草作業を実施。
- ・光ケーブルは災害復旧工事(別工事)で露出配管されたもの。
- ・元請は露出ケーブルがあることを確認し、下請と共に事前確認し、注意喚起を行っていた。
- ・障害物に関する目印は光ケーブル所有者が実施。
- ・事前確認から一ヶ月後の作業のため、事前確認時から草が伸びており、目印、光ケーブルが目視できない状態となっていた。

【事故発生原因】

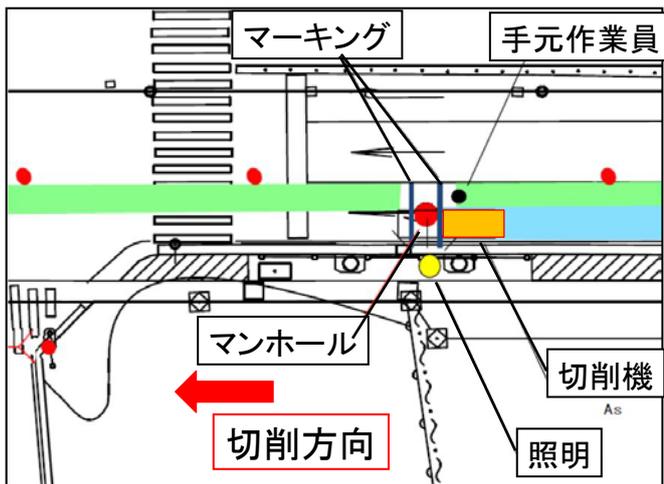
- ・作業前に支障物の確認を行わず作業を行ったため。
- など

【事故防止のポイント】

- ・支障物の位置を確認し、作業員に分かりやすい目印等を設置するなど作業員への周知・徹底を行う。
- ・支障物付近の作業については事前に養生を行う。 など

発生日時	平成 24 年 7 月 27 日 (金) 0 時 0 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 アスファルト舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	マンホール蓋、受枠損傷	
事故概要	路面切削時に情報管路特殊部のマンホール蓋を損傷させたもの。				
	公衆損害事故-その他公衆損害				

事故発生状況



切削状況平面図

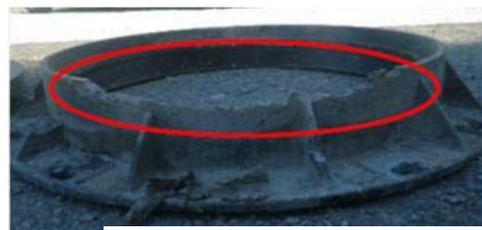
・車線復員3.5mの切削を2回に分けて実施。

・マンホール前にはマーキングを行い、手元作業員が手前で止める合図を切削機オペレータに行うこととなっていた。

・1回目切削時(左図緑着色)はマンホール前で切削機を止めて避けて施工したが、2回目(左図青着色)は手元作業員がマンホールギリギリまで接触させても大丈夫だろうと思い込み、接触させてしまった。



マンホール受枠損傷状況



マンホール蓋損傷状況

【事故発生原因】

・支障物付近での切削について安全対策が不十分であったため。
など

【事故防止のポイント】

・支障物付近での切削における安全管理をふまえた作業方法を作業員に周知・徹底する。

発生日時	平成 24 年 7 月 27 日 (金) 10 時 30 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 造園工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	車両ボンネット損傷		
事故概要	肩掛け式除草機で除草中、飛石(単二乾電池)により駐車車両を損傷させたもの。					
	公衆損害事故-第三者の負傷・第三者車両に対する損害					

事故発生状況



- ・肩掛け式除草機を使用し除草作業を実施。
- ・外周フェンス沿いは飛散防止ネットを使用していたが、事故発生場所のフェンス内においては、使用してなかった。
- ・飛石(単二乾電池)は草刈り機の刃で削られた新しい跡があった。

【事故発生原因】

- ・飛散防止対策が実施されていなかったため。
など

【事故防止のポイント】

- ・飛散しないよう飛石対策を行う。(飛散防止ネットの使用 など)
- ・日々の危険予知活動等にて飛石に対